

北陸道



Hokuriku Dou-Raku

Vol. 44

2025 秋冬

Autumn / Winter

Hokuriku Driving Guide

シリーズ特集

「みちが生む
にぎわいを
訪ねる旅」②

Discover the Charm of
the Historic Kaido Roads

北国街道沿い、 城下町の面影を訪ねて

福井・石川・富山の観光・グルメ情報

北陸道SA・PA INFORMATION

Access イラストマップ



2025年10月1日に、NEXCO中日本は
会社創立20周年を迎えました。

表紙／石川門（石川県金沢市）

「みち」が生む にぎわいを 訪ねる旅 ②

Discover the Charm of
the Historic Kaido Roads

北国街道沿い、 城下町の面影を訪ねて

Explore the Historic Castle Towns
Along the Hokkoku Kaido.

石川県 Ishikawa

金沢 Kanazawa

福井県 Fukui

府中 Fuchu

北国街道は、律令時代の官道・北陸道をもとに、地方の城下町と城下町をつなぐ脇街道として整備された道です。日本では、戦国時代から江戸時代にかけて全国で多くの城下町が建設されました。大名の居城を中心に武家屋敷や寺院群、用水、緑地などを計画的に配置しているのが、城下町の特徴です。

当時の都市構造と、その上に残る遺構。街道がもたらした文化や賑わい。歴史の足跡を探して、北国街道沿いの城下町を訪ねます。

All across Japan, castle towns sprang up around the strongholds of powerful lords from the Sengoku period to the Edo period. With the castle at the heart of each, these towns were carefully laid out with samurai residences, clusters of temples, waterways, and green spaces. To step back into history, join us as we explore the castle towns that line the Hokkoku Kaido.

北国街道
よりみち
スポット



金
沢

野々市本町地区



野々市は金沢城下から上方に向かう際最初の宿場町でした。

小松寺町



小松は加賀藩前田家3代・利常の隠居地となった城下町で、宿場町としても栄えました。

安宅の関



歌舞伎「勘進帳」で知られるスポット。海辺の松林に展示施設・カフェがあります。

尼御前岬

越前加賀海岸国定公園の景勝地。尼御前SA(下)から岬を一望できます。



金沢

Kanazawa
石川県金沢市

江戸時代最大の外様大名、
加賀藩前田家の百万石の城下町

金沢は、金沢城を中心に計画的に建設された城下町です。藩主前田家は、百万石の豊富な財力を文治政策に注ぎ、京や江戸から文人、茶人、工人を招き、美術工芸が盛んな現在の金沢の礎を築きました。

戦災や大きな自然災害を免れた金沢では、城下町の都市構造が今に受け継がれています。金沢城公園や兼六園を歩き、長町武家屋敷跡を流れる用水のせせらぎに耳を傾けると、往時の風景が立ち上がってきます。

(写真上) 長町は江戸時代に武士が居住していた地域。用水沿いに土塀と石畳の道が続き、タイムスリップしたような雰囲気味わえます。

長町武家屋敷跡
金沢市長町／Pなし

(写真下) 前田家が造営した兼六園は、江戸時代を代表する池泉回遊式庭園で、日本三大名園のひとつ。
兼六園／金沢市兼六町1
TEL 076-234-3800／Pあり

北国街道沿い、 城下町の面影を訪ねて



江沼神社

小さいけれど、 奥行きのあるまち そぞろ歩きが楽しいまち

石川と福井の県境に位置する大聖寺は、加賀藩の支藩、大聖寺藩の城下町です。「大聖寺」と聞くと、城下町というより信仰の町をイメージするかもしれませんが。この地名は平安時代に当地にあった白山信仰の拠点に由来します。寺院は地名に名を留めるだけですが、霊峰の姿は今も変わらず、晴れた日にまちを歩くと白山が美しい姿を現します。

大聖寺藩の立藩は1639（寛永16）年。加賀藩三代藩主・前田利常が、三男の利治に大聖寺藩七万石（後に十万石）を分け与えたのが始まりです。以降、大聖寺藩前田家は、錦城山

のふもとに陣屋と藩邸、武家屋敷を置き、その東側に職人の町を、南側に寺院群を配置し、城下町を整備していきます。小藩ながらも九谷焼や絹織物、北前船で発展し、藩治は明治を迎えるまで230年間続きました。能楽や茶道、武士の鍛錬として行われた坂網鴨猟など、城下町に育まれた豊かな文化は、今も人々の暮らしの中に息づいています。

北国街道沿いを歩けば、鉄砲町、鍛冶町といった町名や、曲がりくねった路地、点在する寺社や町屋のたたずまいに、城下町らしさが薫ります。かつて城下町の天然の外堀として機能していた川には散策路が整備され、心地よい水辺空間になっています。名所の歴史や逸話を丁寧に紹介する、地元愛あふれる看板があちこちにあるのにも心が和みます。

大聖寺には、山城ファンにぜひ訪れてほしい

大聖寺

Daishoji
石川県加賀市

加賀藩の支藩、豊かな文化が 花開いた十万石の城下町

旧大聖寺川に姿を映す 藩主の休息所

大聖寺藩三代藩主・前田利直は、藩邸に従来の池泉回遊式庭園を大規模に改修し、一隅に休憩所として長流亭（重要文化財）を建てました。これら旧藩邸の遺構は現在、江沼神社の境内となっています。

長流亭／加賀市大聖寺八間道55／TEL 0761-72-0043
Pあり ※長流亭の内部の見学は要予約

低山ながら急峻、 数々の合戦の舞台となった大聖寺城跡



提供／加賀市教育委員会



戦国時代から織豊時代にかけて度々合戦の舞台となった大聖寺城跡を整備。大聖寺城は江戸時代に廃城となり、人々の入山が禁止されたため、本丸や二の丸、石垣などの遺構が良好に保存されています。

錦城山公園（大聖寺城跡）／加賀市大聖寺地方町古城山1-1
TEL 0761-72-7888（加賀市教育委員会事務局文化課）／Pあり

加佐ノ岬



岬の先端に立つと、左右に日本海の大パノラマが開けます。

大聖寺

山城を歩き、 歴史に思いをはせて

地元住民でつくる保存会では、山に生い茂る竹や雑草を刈り取るなど長年にわたって城跡の整備に取り組んできました。近年は山城ブームで、年間千人ほどが錦城山を訪れています。

大聖寺城では関ヶ原の戦いの前哨戦が行われ、西軍についた大聖寺城主・山口玄蕃宗永の軍勢1,200人が、家康に味方した前田利長の金沢勢2万5千の大軍と渡り合い、敗れました。曲輪に立って目を閉じると、当時の兵の姿が浮かんでくるようです。大聖寺城跡は、土づくりの城と石垣づくりの城を融合した歴史的価値の高い城跡と評価されています。遺構をめぐり、歴史に思いをはせてみてください。

錦城山山城址保存会
会長 毛利 修さん

城下町を
ちょっと
深掘り！



歩きながら心を調べていく
静かな寺院群

大聖寺藩が、越前との国境の防御のために寺社を集めたとされる一面。当時は下級武士の屋敷も立ち並んでいました。現在は7寺院、1神社があり、寺社めぐりが楽しめます。山ノ下寺院群のひとつ、曹洞宗の全昌寺は、松尾芭蕉が奥の細道の行脚中に一泊したことで知られ、境内に句碑が建てられています。金沢藩と大聖寺藩の武士、町人らの寄進によって完成した五百羅漢像も必見です。

山ノ下寺院群／加賀市大聖寺神明町1（全昌寺）
TEL 0761-72-6678（KAGA旅・まちネット）／Pあり



地元住民が設置した
大聖寺の歴史スポッ
トを紹介する看板

スポットがあります。大聖寺城跡として整備され、2025（令和7）年秋に国史跡に指定される見通しの錦城山公園です。標高63mの錦城山には鎌倉時代、土地の豪族によって大聖寺城が築かれ、戦国時代から織田信長・豊臣秀吉の時代にかけて度々合戦の場となりました。江戸時代に幕府の一国一城令で廃城となり、以降は再建されていません。急な坂道や階段を上り、曲輪や土塁を眺めると、建造物はなくとも想像力が掻き立てられます。大聖寺の旅の始まり、あるいは終わりに、城の中心だった本丸に立ち、城下町の全景を眺めてみてはいかがでしょうか。

おやつにどうぞ



北国街道沿い、天保年間から続く老舗の餅菓子店の名物。
梅田菓子舗「大聖寺どら焼き」



古い街並みに 新しい風を吹き込む町屋カフェ

北国街道沿い、かつて魚市場として親しまれていた築90年の建物をリノベーションしたカフェ。漆器の木工工房が併設され、職人技を目にできるのも魅力です。「地域の日常は、旅の非日常。大聖寺はありのままが魅力です」とオーナーの山根さん。

FUZON KAGA Cafe and Studio
加賀市大聖寺魚町21／TEL 0761-75-7340／Pあり
※木工工房の作業は不定期



ドリップコーヒー
（自家焙煎）550円

ランチプレート 1,500円

北加賀 船橋立集落



北前船の船主や船頭が多く居住した集落で、国の重要伝統的建造物群保存地区。

片野鴨池 （鴨池観察館）



ラムサール条約登録湿地「片野鴨池」に隣接。室内からさまざまな鳥を観察できます。

地元作家の器で、地元のお茶を



山ノ下寺院群のほど近く、石川県九谷焼美術館2階の茶房古九谷では、地元作家の器で「献上加賀棒茶」や「加賀の紅茶」を楽しめます。美術館入館者でなくても利用できるので、散策の休憩にどうぞ（もちろん、美術館を鑑賞しても!）。窓の外には、「古九谷の杜」と名付けられた公園が広がっています。



茶房古九谷

加賀市大聖寺地方町1-10-13／TEL 0761-72-6366／Pあり
献上加賀棒茶770円、季節の上生菓子440円

FUZONからすぐ

城下町に時を知らせた時鐘堂は、大聖寺藩2代藩主前田利明が建造しました。1934（昭和9）年の大火で消失しましたが、2003年に復元されました。



大聖寺地区会館駐車場の一角に建つ、復元された北国街道の道標。「是より金沢縣庁前まで十三里十八町三十七間」とあります。



福井城は北庄城があった場所から本丸を北側に移し、現在地に築かれました。足羽山で採掘された笏谷石の石垣と内堀が残っており、春には桜のお花見スポットとしても人気です。

福井城址／福井市大手3
TEL 0776-20-0774（福井県交通まちづくり課）
Pあり（福井県庁地下駐車場を利用）

アプリを使ってタイムスリップ



福井城は壮大な天守や百閒堀などを備えています。復元した天守や櫓などをVR/ARで楽しむアプリ「ストリートミュージアム*」（無料）を使えば、より深く福井城を知ることができます。

アプリダウンロードはこちら▶



福井を代表する銘菓「羽二重餅」



もち粉と砂糖、水あめで練り上げた求肥のなめらかな口あたりと上質な甘みに、ひと口ほおばればファンになること間違いありません。福井を代表する銘菓といえば、「羽二重餅」です。福井は江戸時代から日本を代表する絹織物の産地であり、特に平織の「羽二重織」が有名でした。そんな歴史にちなみ、絹のような感触を和菓子に取り入れたことから、その名前が付きしました。長年にわたって城下町の人に親しまれてきた和菓子は、旅のおみやげとしても大人気。北陸道のSA・PAでも取り扱っていますので、ぜひどうぞ。

写真協力／羽二重餅の古里（マエダセイカ）
TEL 0120-36-3456（フリーダイヤル）

汐越の松



加賀と越前の県境にあった名所。西行や松尾芭蕉といった文人たちも訪れています。

千束一里塚



約3.9kmごとに造られ、旅程の目安となった一里塚。小高い塚にエノキを植えた往時の姿が残っています。

舟橋跡



九頭竜川にあった舟橋は、48艘の舟を鎖でつなぎ、そこに板を並べて造られました。「天下の三大舟橋」の一つに数えられています。

左内公園



16代藩主・松平春嶽や橋本左内など、福井藩は幕末維新期に活躍した数々の偉人を輩出。市内にはその足跡を讃えるスポットが数多く残っています。

福井

北国街道沿い、 城下町の面影を訪ねて



壮大な天守がそびえた
藩政期に思いを寄せる

往時の面影が街中に 福井城復元が進行

県の中心として多くの人でにぎわう福井市。街の歴史をたどると、徳川家康の次男・結城秀康が初代藩主となり、以来、越前松平家が治める福井藩のお膝元として発展を遂げていきました。街中を歩けば、そんな往時の面影をいくつも見つけることができます。その一つが福井県庁周辺です。ここはかつて高さ約30メートル、4層5階の天守がそびえる福井城があった場所。今でも本丸の石垣や内堀、大火で焼失した天守跡などが残り、文武両道で知られる結城秀康像や井戸「福の井」が建てられています。さらに、歴史的価値を高



藩主になった気分で
国名勝をゆったりと

「養浩館庭園」は1945（昭和20）年の福井大空襲で建造物などが消失したものの、93（平成5）年に復元。藩政期の姿を忠実に再現しています。

養浩館庭園
福井市宝永3-11-36／TEL 0776-20-5367（福井市文化振興課）
※土日祝日は福井市立郷土歴史博物館にお問い合わせください。／Pあり



半石半木だった名橋は
今も昔も交通の要



半石半木だった九十九橋。木造にしたのは、「戦乱時の防御や洪水時の被害を抑えるため」「川舟が通行しやすい高さにするため」などと考えられています。古写真にある常夜灯を模した造りがかつての面影を伝えています。

め、魅力を発信するため、復元プロジェクトも進行中です。2008（平成20）年に御廊下（おろうか）橋、18（平成30）年には山里口（やまざとぐち）御門を復元。藩主の住居があった御座所と本丸を結ぶ福井城の特色ある景観がよみがえりました。現在は29（令和11）年度の完成を目指し、本丸の南西角にあった坤（ひつじさる）櫓などの整備が進められています。福井城址から5分ほど歩けば、有力な親藩の一つとして幕府を支えた越前松平家が愛でた景観を堪能できるスポットも。池を中心に数寄屋造りの屋敷と園路を整備した「養浩館庭園」は歴代藩主の別邸で、当時と同じように座敷からゆったりと“侘び”の世界が広がる庭園美を楽しめます。庭園と隣接する「福井市立郷土歴史博物館」も、ぜひ訪れてほしいスポットです。古代から現代までの福井の歴史をたどっており、

ジオラマや文献などを通して城下のくらしやにぎわいをうかがい知ることができます。16代藩主・松平春嶽や橋本左内など、幕末の動乱期に輝きを放った福井ゆかりの俊英たちに思いをはせる展示も充実しています。北国街道でつながる城下町・福井を探る上では、市内中心部を流れる足羽川に架かる「九十九橋」も必見です。九十九橋は藩政期、北側が木造、南側が石造の半石半木の造りになっており、日本三大奇橋の一つとして葛飾北斎の『諸国名橋奇覧』など多くの絵や文献に描かれています。そこには多くの人々が行き来し、橋のたもとで川舟から荷物を積み下ろす様子を確認でき、街道がつなぐ城下町・福井の繁栄を知ることができます。橋周辺は福井を代表する桜の名所でもあり、九十九橋は400年間変わらず、多くの人々が行き交っています。



舎人門遺構を復元
福井の歩みをより深く



北庄城址に神社を創建
猛将・柴田勝家公を祀る

北庄城址には現在、柴田神社が鎮座し、城下町のにぎわいづくりに大きく貢献した戦国武将・柴田勝家公とその妻・お市の方がまつられています。

柴田神社／福井市中央1-21-17／TEL 0776-23-0849／Pなし

城下町を
ちょっと
深堀り！

北庄城築城から450年
思い巡らせ、散策を

城下町・福井は、舟運が盛んな足羽川と北陸道の結節点となる地に、柴田勝家が北庄城を構えたのが始まりです。かの安土城に匹敵したとも言われる壮大な城郭が築かれてから今年で450年。明治以降の近代化の波や、福井大空襲（1945年7月）・福井地震（48年6月）による被害などで、街並みは大きく変わりました。ですが、街中を歩けば藩政期から現代までの福井の歩みを物語るスポットが数多く見つかります。当館では、福井城下と現在の福井市街を重ね合わせて散策を楽しめる地図（写真上）を販売しています。時を超えた城下町巡りをお楽しみください。

福井市立郷土歴史博物館
学芸員 藤川 明宏さん



福井市立郷土歴史博物館には郷土を知る展示がさまざま。敷地内には、福井城の北側の外堀に築かれた舎人門（とねりもん）遺構を復元しています。
福井市立郷土歴史博物館
福井市宝永3-12-1
TEL 0776-21-0489／Pあり



越前市役所とその周辺は、ここで初めて城持大名となった前田利家が府中城を築いた場所です。庁舎建替工事で見つかった遺構の石を用いて、かつての城郭を偲ぶ石垣を新たに庁舎前広場に再現しています。



城下町には寺院が並び寺町通りも。石畳の趣ある町並みが続いています。



越前和紙を愛用した
横山大観書の御朱印も人気

この地に紙漉きを伝えた紙祖神・川上御前をまつる岡太神社・大瀧神社。御朱印は横山大観が揮ごうしています。
※御朱印は石川製紙(株) (越前市大滝町11-13/TEL 0778-43-0330) 2階事務所で取り扱っています (1枚500円)。
| 岡太神社・大瀧神社/越前市大滝町13-1/Pあり

府中は藩政期、関西から北陸方面への物資の中継地としてにぎわいを見せました。商人たちの蔵が並んでいた一角を現在、「蔵の辻」として整備。日本料理店やカフェ、バーなどが並び新スポットとして人気です。

蔵の辻/越前市蓬萊町Pあり(まちなか駐車場<武生公会堂記念館西側駐車場>をご利用ください)



藩政期に輝いた伝統工芸が
歴史ある街に今も息づく

府中

Fuchu
福井県越前市

紙祖神をまつる古社は必見 社殿に名棟梁の技が光る

府中は越前市の旧武生市街地にあたり、南北に長い形をしています。これは、現在の越前市役所にあった府中城を核に、北国街道に沿って城下町が築かれていったからです。『源氏物語』を著した紫式部の父・藤原為時が国守として赴任するなど国府が置かれた地でもあり、府中は長年にわたって越前の中心地として栄えてきました。街中には、伝統的な町家や白壁の蔵が建ち並び「蔵の辻」など、歴史の息遣いが聞こえるスポットが点在しています。そんな城下町の顔を持つ越前市には、越前打刃物や越前筆など数々の伝統工芸が受け継がれています。1500年以上伝承される

西山公園



約150年前、鯖江藩主が造営したことから始まる西山公園。日本海側随一のツツジの名所でもあります。



府中

タンス町



幕末に始まった越前筆筒も越前市を代表する伝統工芸。工房や家具店が軒を連ねる通りには、ノスタルジックな雰囲気があります。

今庄宿



初代福井藩主・結城秀康によって整備された宿場町。当時とあまり変わらない町割りや道幅が残る、歴史ある町並みが保存されています。



板取宿



近江と越前の国境に整備された板取宿。北国街道の入口にあたり、石畳や茅葺きの古民家が宿場の息遣いを今に伝えています。



体験して、見て、学ぶ
越前和紙の魅力にふれる

越前和紙の魅力をより深く知りたい方は「越前和紙の里」へ。江戸中期の紙漉き家屋を移築した「卯立の芸芸館」、和紙の歴史・文化を伝える「紙の文化博物館」、体験やおみやげがそろった「パピルス館」がそろっています。

越前和紙の里/越前市新在家町/Pあり
(卯立の芸芸館/TEL 0778-43-7800、紙の文化博物館/TEL 0778-42-0016、パピルス館/TEL 0778-42-1363)



職人技の見学や体験も
越前の匠の世界へ

藩政期に飛躍を遂げた越前打刃物の魅力を発信するのが「タケフナイフビレッジ」。共同工房で職人たちが作業する様子を見学したり、包丁作りや研ぎの体験をしたりと、700年に及ぶ越前の匠の世界を堪能できます。

タケフナイフビレッジ/越前市余川町22-91
TEL 0778-27-7120/Pあり

保勘左衛門で、目を見張る職人の高い技術力からも、越前和紙に寄せる当時の人々の思いが伝わってきます。薄くて軽いのに丈夫——。国内外から注目される「越前打刃物」も藩政期に飛躍を遂げた工芸品です。振興に深く関わったのは福井藩の老中として府中城主となった本多富正で、打刃物職人を城下に集めて奨励しました。加えて、各地を回る漆かき職人が採取する際にこの地で作った鎌を使い、同時に旅の資金作りとして打刃物を売り歩いたことから全国に流通したと言われています。江戸時代中期から明治時代まで越前鎌は全国一の生産量を誇ったとされ、城下町から延びる街道が越前打刃物を頂きへと導く道筋の“一里塚”になりました。

府中生まれの福井名物
「越前おろしそば」



福井を代表するご当地グルメといえば、冷たいそばにたっぷりの大根おろしがのった「おろしそば」です。府中で誕生したと言われており、府中城主・本多富正が呼び寄せた京都・伏見のそば職人・金子権左衛門が考案しました。越前市内には城下町生まれの逸品を楽しめるお店が数多く、「越前そばの里」もその一つ。こだわりを追求した絶品のおろしそばが味わえるのはもちろん、おみやげやそば工場の見学もできます。そば打ちなどを体験できる工房もあり、さまざまな角度から越前そばの魅力にふられます。

越前そばの里
越前市真柄町7-37/TEL 0778-21-0272/Pあり



越前和紙が彩る
美の世界にふれる

越前和紙の里美術館では、2025年11月10日まで企画展「歌麿・写楽の時代——越前和紙が再現する浮世絵の魅力」を開催。その後も今年度は浮世絵の魅力に迫る企画展を予定しています。

越前和紙の里美術館
越前市新在家町11-13
TEL 0778-43-5975
Pあり

丈夫で発色のいい越前和紙
浮世絵文化を今に伝える

越前和紙は藩政期、城下を代表する工芸として発展し、幕府の御用紙として重要な文書に使用されました。明治に入ると画紙として、横山大観や東山魁夷などの画家たちが使用するようになりました。近代を代表する画家を魅了した越前和紙の特色には、丈夫で発色のよさが挙げられます。その強みは何度も刷り重ねる浮世絵にも生かされます。当館では大河ドラマにあわせて、喜多川歌麿や東洲斎写楽などの復刻浮世絵を3期に分けて紹介する企画展を開催しています。江戸時代に花開いた浮世絵文化を、越前和紙を通して堪能していただければと思います。



越前和紙の里美術館
館長 澤野 直幹さん

城下町を
ちょっと
深掘り!



1 あわら温泉

約140年の歴史がある人気の温泉地あわら温泉。74本の源泉があり、各旅館が自家源泉をもっているため、宿ごとに違う泉質・効能のお湯が楽しめます。「あわら湯のまち広場」にある無料の芦湯（足湯）をはじめ、情緒たっぷりの屋台村が集まった湯けむり横丁は是非訪れてみたいスポット。日本海に近いので、これからの季節は新鮮な魚介や越前ガニもおすすです。

📍 福井県あわら市二面33-1-5 🚗 北陸自動車道 金津ICより車で約15分
☎ 0776-78-6767(あわら市観光協会) 🕒 8:30～17:15

スキージャンプ勝山

西日本最大級のスキー&総合リゾート。冬は16コース・最長滑走距離5,800mの多彩なゲレンデや家族向けのキッズパーク、温泉、直結のリゾートホテルで知られ、夏も高原リゾートとしてさまざまなアクティビティが楽しめます。難易度や好みに応じて3エリアに分かれており、スキーだけでなくスノーボードも全コースで滑走可能です。

📍 福井県勝山市170-70 🚗 中部縦貫自動車道 勝山ICから車で約20分
☎ 0779-87-6109(スキー場・レストラン)
🕒 冬季8:30～16:30(平日) 8:00～16:30(土日祝)
📅 2025年11月4日(火)～12月19日(金)※降雪、積雪状況により変動する可能性があります。



こころとからだを動かす旅へ

温泉に、スキーに、文化体験に、
季節をアクティブに楽しむ



3 越前陶芸村

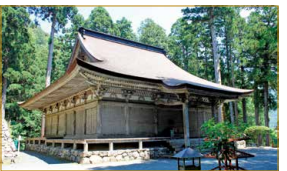
「越前陶芸村」は広大な越前陶芸公園を中心に、越前焼を見る・作る・使うことができるさまざまな施設を併設。岡本太郎の「月の顔」をはじめ15のモニュメントが点在し、四季折々の風景と散策が楽しめるほか、「福井県陶芸館」では日本六古窯のひとつ「越前焼」の魅力を丸ごと味わうことができ、ショップ・陶芸教室も併設。2025年10月25日(土)～2026年1月12日(月・祝)の土日祝日には手作りのあかりとり『陶あかり』、5千個が創り出す光の空間『五千色の胸あかり2025』を開催。

📍 福井県丹生郡越前町小曾原120-61 🚗 北陸自動車道 鯖江ICから車で約30分 ☎ 0778-32-2174(福井県陶芸館)
📅 各施設によって異なるためHPをご覧ください。

明通寺

平安時代創建の古刹で、国宝の本堂と三重塔を有する明通寺。山あいに佇む静寂な雰囲気や力強い鎌倉様式の建築美が魅力です。本尊 薬師如来像や仏像群も文化財に指定されており、歴史や美術、建築好きの方にも人気の高い寺院です。周囲が豊かな自然に包まれているので、季節によって異なる趣が楽しめます。

📍 福井県小浜市門前5-21 🚗 舞鶴若狭自動車道 小浜ICから車で約15分
☎ 0770-57-1355 🕒 9:00～17:00 拝観料：500円 📅 年中無休
※三重塔の特別拝観は荒天時は内部保存のために公開を中止することがあります。



※営業時間については各施設にお問い合わせください。

福井県内の観光に関するお問い合わせ (公社) 福井県観光連盟 <https://www.fuku-e.com/>

ふくいドットコム

検索

きて!みて!よかった!!
大本山 永平寺 御用達

羽二重餅の故里

〒910-1121 福井県吉田郡永平寺町松岡吉野35-21-1
予約 TEL 0776-61-2100

🌐 <http://www.maedaseika.co.jp>



マエダセイカ株式会社

🕒 AM8:00～PM5:00

📅 年中無休

🚗 福井北I.Cより2分、JR福井駅より20分

新たに4カ所 ETC専用料金所 運用開始!!

E8 北陸自動車道

6 武生IC

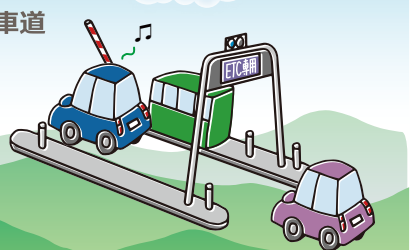
14 小松IC

24 滑川IC

E41 東海北陸自動車道

16 福光IC

ETC専用 料金所として 運用を開始しました!





5

神宮寺

小浜市内に現存する寺社仏閣の中でも、国宝や重要文化財などに指定されている古刹の八つの寺院は「ハヶ寺」と呼ばれ、「神宮寺」はその一つです。全国的にも珍しい神仏習合の寺院で、毎年3月2日に奈良東大寺二月堂に香水を送る神事「お水送り」を行っており、若狭ではお水送りが終わると春が訪れるといわれています。秋は紅葉が美しいスポットとしても有名です。

📍 福井県小浜市神宮寺30-4
🚗 舞鶴若狭自動車道 小浜ICより車で約15分
☎ 0770-56-1911 ☎ 9:00～16:00
🕒 2/15～3/5(お水送り準備のため) 拝観料:500円



7 ナポリピッツァと薪窯焼き料理の店
バードランド

真のナポリピッツァ協会日本支部に認定された本格ナポリピッツァの専門店。本場ナポリで修行を積んだオーナーシェフが、地元福井の旬の食材を使ったこだわりのピッツァを薪窯で1枚1枚丁寧に焼き上げます。定番人気のマルゲリータはもちろん、季節のピッツァも味わえます。ログハウスの居心地の良い店内で美味しいピッツァを楽しむことができます。

📍 福井県坂井市三国町緑ヶ丘4-19-21 🚗 北陸自動車道 金津ICから車で約20分
☎ 0776-82-5778 ☎ 11:00～15:00、17:30～21:00(冬季は17:00～21:00)
🕒 月曜日・木曜不定休 ※祝日の場合は翌日休業

はぴバス

6

「はぴバス」は、福井県の人気観光地を手軽に周遊できるバスツアー。バスガイドが同行し各観光地の特徴を紹介するので、見所を外さずに楽しめます。世界三大恐竜博物館の「福井県立恐竜博物館」、曹洞宗の大本山「永平寺」、戦国時代の朝倉氏の栄華を伝える「一乗谷朝倉氏遺跡」など、福井の人気観光地を巡るコースがあります。

📍 福井市日之出5-3-30 🚗 北陸自動車道 金津ICより車で約15分
☎ 0776-54-3733 ☎ 9:00～17:00 ※詳細は「はぴバス」で検索



※営業時間については各施設にお問い合わせください。

福井県内の観光に関するお問い合わせ (公社) 福井県観光連盟 <https://www.fuku-e.com/>

ふくいドットコム

検索

有料
広告

募
集
中

北陸道楽に広告を載せてみませんか…!?

北陸道楽では、北陸地方の企業・地方公共団体のみなさまの広告を有料で掲載することができます。どなた様でもお気軽にお問い合わせください。

有料広告
募集中

→ 詳細はこちら



8 料理茶屋 魚志楼

明治初期創業、築100年の歴史を持つ料理茶屋。料理は三国港で水揚げされる新鮮な海の幸を中心に、地元食材を使用した会席やがさ海老丼、甘えび天井などを提供しています。冬は越前がにを使った料理も味わえます。(11/6～3/20まで・時価) 建物のしつらえや店内にも歴史が息づいており、伝統的な町家体験と、旬の福井の味覚が堪能できるスポットです。

📍 福井県坂井市三国町神明3-7-23 🚗 北陸自動車道 金津ICから車で約25分
☎ 0776-82-0141 ☎ 11:30～14:00、18:00～21:00 🕒 火曜、第2・4水曜



9 三国港越前がに料理専門店
みくに隠居処

美食都市アワードを受賞した坂井市にあるレストラン「みくに隠居処」。200年の時を経て、かつて北前船の船員たちが集い語った屋敷跡を新しく活用。三国港水揚げの新鮮な魚介類を使ったメニューを提供し、特に三国港越前がに料理が有名。1日1組限定で宿泊もでき、温泉付きの和モダンな落ち着いた雰囲気であつたり過ごすことができます。

📍 福井県坂井市三国町信3-7-22 🚗 北陸自動車道 金津ICから車で約25分
☎ 0776-82-8558 ☎ レストラン:11:00～15:00、17:30～21:00
ホテル:IN16:00/OUT10:00 🕒 水曜・木曜



※現地にお越しの際は、営業時間・休館日等各施設へお問い合わせください。



1 萬松園 あいうえおの杜

五十音図(あいうえお順)の原型を考案したとされる明覚上人ゆかりの地「萬松園」を整備し新しくオープンした自然とふれあえる体験型施設です。施設内にはキャンプ広場やキャンピングカーサイト・コテージのほか、ドリンクやパンケーキが楽しめるカフェや遊具スペースも充実。360mの空中回廊を歩き切った先に広がる「もりの雲海」は必見です。

📍 石川県加賀市山代温泉八74-1 🚗 北陸自動車道 加賀ICより車で約10分
☎ 0761-76-5575(あいうえお学舎事務所) ☎ 9:00～17:00 📅 火曜日

谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館

「谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館」は建築・都市についてのミュージアムです。金沢市出身の著名な建築家・谷口吉郎氏の住まい跡に長男で世界的に活躍した建築家・谷口吉生氏が設計し建設されました。館内では両氏の建築作品や資料等を展示。展覧会や講座・建築ツアーなどさまざまな活動を通じて建築文化の魅力を金沢から世界へ発信する拠点となっています。

📍 石川県金沢市寺町5-1-18 🚗 北陸自動車道 金沢西ICより車で約15分※Pなし
☎ 076-247-3031 ☎ 9:30～17:00(入館は16:30まで)
📅 月曜日(休日の場合は翌平日)・年末年始(12/29から1/3)・その他展示替期間



※撮影:北嶋俊治

見えないものを感じる旅へ

金沢へ、加賀へ、能登へ、土地の文化に会いに行く



3 野々市市郷土資料館 NoNo

かつて江戸時代に北国街道の宿場町として栄えた野々市。その文化を後世に残していくため1982年に旧魚住家住宅を利用して開館した郷土資料館です。建物自体も貴重ですが館内には生活用品・民具など歴史を知れる展示がたくさん。こだわりの冷たい手打ちそばと、各種温かいおそば、そば団子、アイスコーヒー、野々市の復刻清酒「狸々」を味わうこともできます。

📍 石川県野々市市本町3-19-24 🚗 北陸自動車道 白山ICより約15分 ☎ 076-246-2672
☎ 9:00～17:00(CAFE:10:00～16:00、そば:11:00～15:30) 📅 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、年末年始

道の駅 狼煙

2025年7月4日にリニューアルオープンした能登半島の最先端の狼煙町にある道の駅です。地元の里山の恵みを感じながらゆったり過ごせるスポットとして人気です。道の駅では珠洲特産の大浜大豆と珠洲産天然にがりを使った地豆腐が名物で、コクと甘みが強い大浜大豆の豆乳ソフトクリーム、珠洲の丹生そば、梅干しなど狼煙町ならではの美味しい食材・商品も販売しています。

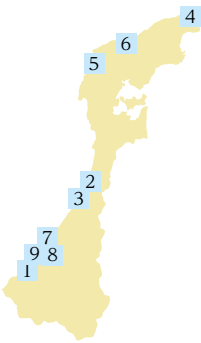
📍 石川県珠洲市狼煙町テ部11
🚗 のと里山海道 のと里山空港ICから車で約1時間15分
☎ 金・土・日曜のみ営業、全曜12:00～16:00、土曜・日曜・祝日10:00～17:00
📅 月～木曜日

※営業時間については各施設にお問い合わせください。

石川県内の観光に関するお問い合わせ (公社) 石川県観光連盟 <https://www.hot-ishikawa.jp/>

ほっと石川旅ねっと

検索



石川エリア

autumn・winter 2025



日本自動車博物館



展示台数日本一!!

あの憧れた名車や愛用した懐かしい車達にまた逢える博物館

国内最大級 500台のクラシックカーを展示

🕒 9:00～17:00 📅 水曜日・年末(12/26～31)

📍 石川県小松市ニツ梨町一貫山40番地

☎ 0761-43-4343 <https://www.motorcar-museum.jp>



実際に使用できる
「世界のトイレ」も必見です

LE MUSÉE DE H



北陸発

YUKIZURI

兼六園の冬の風物詩 雪吊りの縄をイメージし、
石川県産の梅酒・卵・米粉をふんだんに使い、
フランス伝統菓子のサクリスタンをヒントに焼きあげました。



[10本入り] 1,620円(税込)